

地域密着型特別養護老人ホームわかば  
令和7年度 第1回 運営推進会議

施設長	作成

開催日時		令和7年4月23日(水)	午前11時～午前12時00分
開催場所		特別養護老人ホームわかば 1階 会議・研修室	
サービス区分		地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	
出席者の状況	委員（職種）	委員数（10）名／出席（10）名	
		（利用者代表）	（家族代表）
		（地域代表）	（市町村職員）
		（第三者委員）	（知見を有する者）
	（中央地域包括センター職員）		
	職員（役職）	（特養わかばイースト施設長）	
		（特養わかば生活相談員）	
（特養わかば施設長）			
報告事項		出席者紹介 ● 活動状況報告 ● サービスの質の向上にかかる事項 ● その他、意見交換	

次第

出席者：別添資料（スライド⑭）に構成メンバーを記載。

開催にあたり、令和6年度の運営推進会議はおおむね2ヶ月ごと年6回の開催を皆様の協力を得ながら開催できたことについて謝辞報告が行われる。

● 地域密着型特別養護老人ホームわかばの活動状況報告

1. 活動状況報告（スライド③～⑤）

令和6年4月～令和7年3月度の令和6年度期間における稼働件数推移について報告。

● 男女別稼働件数推移

通期として4月、10月、11月は100%稼働となったもののその以外は入院空床による稼働減となる。

● ユニット別稼働件数推移

2月～3月期間は延べ61日間の入院空床が発生。

● 要介護度別利用者数推移

令和7年3月末時点の入院以外の在籍として、要介護度区分3の方が4名、要介護度区分4の方が16名、要介護度区分5の方が9名となる。

2. ユニット別平均要介護度、平均年齢（スライド⑥）

施設全体平均要介護度は4.2（女性：4.3 男性：3.8）

年代構成は60歳代× 1人

80歳代× 9人

90歳代×19人

- サービスの質の向上にかかる事項

### 3. 人員体制（スライド⑦）

介護職員に占める介護福祉士の割合（12名中10名＝83.3％）。

実務者研修修了者の2名は介護福祉士資格取得。

介護職員における無資格従事者はグローバル人材1人。初任者研修受講予定。

### 4. 事業所の取組み（スライド⑧）

- 嘱託医の往診 2回／月（隔週(第1・3)月曜日)
- 理美容サービス 1回／月（不定期で追加日程を設けている）。
- セブンミール 2回／月（第2・第4木曜日）開催。
- わかば栄養サポートチーム 毎月1回開催。
- 行事等

各会議の開催は配布資料の通り。

平成29年3月1日開所であり、3月12日に開所記念行事を開催。

県の上位認証説明会に参加。認証制度から上位を目指すところにもなるが、上位取得に明確な優位性が見いだせず、県と協議を開催していく。

### 5. 職員研修状況（スライド⑨）

年次研修実施報告として配布報告資料の通り。

※なお、研修に参加できない職員は全員レジユメに沿ったレポート提出を義務付ける。

### 6. 苦情、事故、ヒヤリハットについて（スライド⑩～⑫）

- ヒヤリハット報告

配布資料の通り。期間の計として3件、通期の累計は46件の計上。

- 事故報告

配布資料の通り。期間の計として9件、通期の累計は105件の計上となるが、令和6年度の事故報告の扱いとしては、通常の状態でない状況も報告として挙げており、件数は大きく増加。それにより気づきの強化を狙った。

- ヒヤリハット分類

通期として、「外傷」56.5％、次いで「転倒」23.9％、「転落」8.7％。

- 事故分類

通期として「外傷」76.4％、次いで「転倒」16.0％、「転落」3.8％。

事故報告内容として、自主運動を終えたお客様が車いすへ着座する際に車いすのブレーキのかけ忘れによる転倒が発生。大腿骨骨折により入院施術。従前の自主運動に再び取り組めるよう意欲も含め関わっていく。

- 参加者からの意見・ご提案等について、

(知見を有する者)

- 施設内をみるに経験の浅い若手の職員が意欲的に業務にむけるよう働きかけてほしい。業界において人員不足があるが、声掛けはどんなに忙しくても適切な対応を心掛けてほしい。理事長も常日頃から話している通り、この仕事は人の手によって提供されるもの。その辺もしっかり担っていける育成をお願いしたい。

(第三者委員)

- 介護の仕事に就く人の不足が言われているが、需要(必要性)は団塊の世代が後期高齢者層になることから増えていくと思える。(自身が)使いたくても利用できないといった状況になるのは家族も含め大変になる。人が不足している、運営的に厳しいからといって事業所を廃止しているところも増えていると聞く。ここではわかばに頑張っていってほしい。

(地域代表)

- 民生委員の話になるが、なり手がいない。いま担ってくれている方もある事案をきっかけに続けることに難色を示している。個人情報の扱いなどは理解しているが、単独世帯の方のサポートにはある程度、共有や開示が必要と感じている。

(中央地域包括支援センター)

- カフェてらすわかばの開催案内。

(基幹包括センター)

- 令和7年度の地域包括支援センターの職員体制について周知。

次の開催予定月は偶数月の6月度の開催として調整。